

標 題 : Mediterranean alpha-linolenic acid-rich diet
in secondary prevention of coronary heart disease
冠状動脈性心疾患の二次予防における地中海式の高 α -リノレン酸食事

著 者 : M. de Lorgeril, et al. [The Lyon Diet Heart Study] (フランス、INSERM)

掲 載 誌 : Lancet 343: 1454-59 (1994)

要 旨 : 地中海式の高 α -リノレン酸食事の影響を、追跡、ランダム化、シングルブラインド、二次予防試験で、通常の心筋梗塞後の食事と比較した。

最初の心筋梗塞後に、患者を実験群(n=302)または対照群(n=303)にランダムに割当てた。ランダム割当ての8週間後に患者を診察し、毎年5年間診察した。

実験群は、脂質、飽和脂肪、コレステロールおよびリノール酸の摂取が有意に低かったが、オレイン酸および α -リノレン酸の摂取が多いと、血漿の測定で確認された。

血漿脂質、血圧およびBMIは2群で同様のままであった。実験群で、血漿のアルブミン、ビタミンEおよびビタミンCの値が上昇し、顆粒球数が減少した。

平均で27ヵ月の追跡後に対照群16人および実験群3人の心臓死があり；対照群17人および実験群5人の非致死性心筋梗塞があった：この2評価項目を結合したリスク比は予後変数補正後に0.27 (95%CI 0.12 - 0.59, p=0.001)であった。

総死亡は対照群20人および実験群8人で、補正後のリスク比は0.30 (95%CI 0.11 - 0.82, p=0.02)であった。

地中海式の高 α -リノレン酸食事は、冠状動脈性の発症と死亡の二次予防において現在使用されている食事よりも有効と思われる。
